

現代GP Newsletter

>>> Good Practice



日本福祉大学

http://www.n-fukushi.ac.jp

発行
日本福祉大学現代GP推進室

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学 経済学部内
TEL (0569) 87-2322
FAX (0569) 87-2273

2005年9月

NO.3

2005年度の現代GP行動計画が始動、 新たな事業にも取組みます。

文科省が推進する大学改革支援プログラムの一つである「現代的教育ニーズ支援プログラム」に昨年採択された本学の「知多広域圏活性化にむけた学生の地域参加」計画は、2年目に入りました。5月に開かれた大学評議会で承認された本年度のプログラムでは、昨年の多彩なプロジェクトの活動を継続しつつ、さらに新たなプロジェクトもスタートしました。2005年度の計画の概要は、本ニュースレターの2頁に掲載しましたのでご覧ください。

USA-JAPAN FORUM 2005 を開催



6月24日、地域貢献に関する日米の大学比較を検討するフォーラムを開催しました。マサチューセッツ大学 Amherst 校 (UMASS) の Andrew EFFRAT 教授を迎え、フォーラムの冒頭では丸山優経済学部長から歓迎の挨拶をかねて、大学における地域連携事業のありかたについて

日本の事例を紹介。

続いて EFFRAT 教授から米国の事例が報告され、活発な討議が行われました。

フォーラムに先だって宮田学長を表敬訪問



常滑市の焼き物散歩道を会場とする「一木橋フェスティバル」が10月末に計画されています。実行委員会の呼びかけに応じて、一過性のイベントではなく、常滑のまちづくりにつながる取組を目指して、学生の取組みが始まりました。

焼き物散歩道風景



新しいプロジェクトの取組み

愛知県東栄町役場と共同して、同町の小学校の統合後の校舎利活用について研究するプロジェクトが発足しました。「子どもたちに農業体験を」「食育プランを」「冒険学校を開講したら」など侃々諤々の議論をすすめています。



▶ 明治時代の校舎が残る古戸小学校

内海の善隣に
出かまきせんか



4月、南知多町で地域文化財調査 結果と学生の提言を発表しました。

“海の文化”をテーマとする曲田プロジェクトでは4月28日、南知多町で、地域の文化財探訪の報告会を開催。町文化協会の澤田会長をはじめ、内海地区のガイドボランティアの方たちが参加されました。

プロジェクトを代表して4年生の中村亜希さんが調査結果と観光振興に関する提言を発表。文化財は町の歴史を見直し、地域の価値を再発見する取り組みであること、埋もれた“文化財”を住民に広めて欲しいとアピールしました。プロジェクトでは9月中旬以降、伊勢湾全体の海洋文化資源の調査と同町の石造物調査を行う予定です。

■ 9月16日・19日

中部国際空港において第2次空港利用者面接調査を実施
(空港株式会社との共同調査)



現代GP中間報告会を開催 >>>>

日時 11月12日(土) 13時～16時

場所 本学美浜キャンパス 文化ホール

>>>> 会場ロビーにてポスターセッションも開催



学生による実験店舗を経て起業、
常滑に「結」(ゆい)が誕生！

JR半田駅前学生実験店舗を続けてきた浜本君が、卒業後、常滑市の焼き物散歩道に学部生の協力を得て、アジアの輸入アクセサリーの店オープン。新聞やケーブルテレビに取り上げられ、浜本君は地元ロータリークラブでも講演しました。